

兵庫の女

武田繁太郎
え・松岡寛一

早いもので、まつをの入院生活ももう五カ月になって
いた。発病したのは、あの凍てつくような寒さのつづい
ていた正月のはじめだったのに、病院からようやく退院
の許しがでたのは、もう春もさかりの五月中旬だった。
退院の知らせをきいて、勢津も、八鹿町からかけつけ
てきた。

「まつをはん。よかったなあ。いまやからいえるけど、
あのときは、ほんまにもうあかん思ってた。こんなに元気
になって、話がでけるなど、夢にも思わなんだなあ」

勢津は感慨おかげにいった。夢だといえ、勢津には
あのときの身内のあさましい姿が、悪夢のように思いだ
されてくる。

「おばあちゃんにも、えらい心配かけましたなあ——」
まつを、しんみりとした口調でいった。彼女はいま
までこの義母を誤解していたように思う。自分が危篤状
態をつづけていたときのことを、あとで市橋たちからあ
れこれときかされ、まつをは、勢津の人柄を見なおした
くなった。

市橋たちは、まつをの兄弟や勢津の娘が、死にかけて
いた病人のそばで、遺産の分捕り話をしていたことは、
まつをには黙っていた。きけば、まつをも虚心ではいら
れぬだろう。本人がこうして生きのびている以上、もう
すんだ話だし、ことさら耳にいれて不快がらせることも
ないと思われたからだ。だが、いつか市橋は、そのとき
の話のなかで、

「まつをはん。あのおばあちゃんは、ええ人やで」
と、さりげなさそうにいった。まつをには、その短い

★あらずし まつをは十五才で広島の家を出て鐘紡の
女工になり、同じ職場の安福利市と結婚。共稼ぎで苦勞
したすえ、呉服屋かたち屋を開いた。結婚後二十年やっ
と子宝に恵まれたが、利市は「南栄商店連合会々長」に
選ばれたが、多忙な身は病を起し、翌年三月他界した。
亡夫の一周忌をすまずと、まつをは大活躍をはじめ
が、ふと口にした酒の味が忘れられなくなる。昭和六年
の正月、まつをは高血圧で倒れた。
昏睡状態で生死の淵をさまよったまつをは、奇蹟的に
よみがえったが、彼女の左半身は完全に不随になってい
た。三月ちかくも肉身のいない家でごんばった長男の良
治は、一中の試験にパスしてまつをを喜ばせた。

言葉が、なぜかいつまでも心に残っていた。

かつて勢津が年端もゆかぬわが子を捨てたのは事実で
ある。そのことは責められていい。だが、人間というも
のは、ながい一生のあいだで、自分ではどうにもならな
い運命にめぐりあうことだってありうる。勢津が利市と
別れたのも、いわばそうした人間の悲しい運命の仕わざ
だったのだろう。自分がかたくなに思いこんでいたほど
勢津は薄情な人ではなかったのかも知れない。そう思う
と、まつをは、これまで勢津にたいして閉じられていた
心の扉が、はればれとひらいていくような気がした。

退院の日は、いかにも五月らしくさわやかなさつき晴
れになった。平日だったので、良治は登校していたが、
御崎の店からは番頭や小僧、女中のおたかもやってきて
病院をひきはらう支度に大わらわだった。五カ月もいる



「それではお大事に」

そんな別れの挨拶をかわして、五カ月間派手な入院生活を送った患者は、退院するときにぎやかな一団をひき連れて病院を去っていった。

御崎の店では、この日は臨時休業にして、市橋や紀州屋をはじめ商店会の面々が、ここでもまたにぎやかに、まつをの帰宅を待っていた。まつをを乗せたハイヤーが店先きにつくと、出迎え人たちはどっと車をとりかこんだ。

「やあ、お帰り！」

「退院、おめでどうさん」

「元気な姿、待ってましたで」

いまにも万才の声でもあげそうな、手放して退院を喜んでくれる町の人たちの善意に、まつをは、一瞬、胸のつまるような感動をおぼえた。

「どうもどうも。ながいこと店を留守にして、みなさんにえらうご面倒をおかけしましたなあ」

小僧に背負われて車からおりながら、まつをは、思わず目頭をうるませていた。

奥の居間には寝具の用意がしてあった。まつをは、帯をといただけで、ひとまず身体をやすめることにした。

おたかが、あつい茶を運んできた。まつをは、いれたての香りのいい茶で喉をうるおしながら、枕元にすわっている勢津にいった。

「ああ、やっぱり、わが家がいちばんよろしいなあ」

「そら、病院は設備がととのうてるやろけど、気がらくなのは、なんというても自分の家や」

勢津も合槌をうったが、

「けどなあ、まつをはん、これからはどないしたもんや？ 女手はおたかはん一人やしなあ」

「さいな。そのことでは、わたしもいろいろ思案してま

と、一世帯持てるほどのものがたまっていた。

「いざ退院となると、この病室も名残りおしうなるなあ」
まつをは、ベッドのうえで、勢津に頭髪を結ってもらいながら、あらたまった面持ちで見なれた部屋のなかをながめまわした。あたまを束髪に結ってもらい、おたかと付き添い婦に両わきからかかえられて、ベッドに腰をかけるおたかが持ってきたお召のきものに着換えさせてもらった。ひさしぶりに帯をしめると、さすがにしゃんとした気持ちになった。

病院でのさいごの昼食をすますと、昼すぎ、病院長以下主治医や看護婦・付き添い婦らに見送られながら、まつをは、小僧の一人に背負われて、病院の玄関をでた。玄関先きには、二台のハイヤーと、小僧の自転車三台が待機していた。自動車のトランクと、自転車の荷台には荷物がぎっしりと積まれた。

「どうも長いあいだお世話になりました」

したんや」

こうして帰ってくれば、さつそく、病院の付き添い婦の役をしてくれる女手が必要だった。朝の洗顔から、着換え、食事、入浴、それにしものことまで、二六時じゅう、他人の手をかりなければならぬ。

まつをは、おたかにすべての面倒をみてもらうつもりだった。おたかは飾磨の浜の出で、いちど片づいたが、



連れあいに海で死なれ、子供がなかったので、身ひとつでかたぢ屋に住みこんでいた。いまはもう四十を越していたが、陰日向のない働きものだったので、まつを家族同様に頼りにしていた。おたかのほうでも、居こちがいいのか、飼い殺しにしてみらうつもりでいる。

だが、おたかがまつを世話にかかりきりになると、店のものを世話する女手がいる。

「おばあちゃん、どうでっしゃろ？ 八鹿の在あたりに、ええ女中はん見つかりまへんやろか。女中仕事は、町のもんにはつとまりにくいさかいなあ」

「うん、そうや。村岡の知りあいに、ちようどええ娘がいる。丈夫で、よう働く娘や。わしが頼んだら、きてくれるやろ。帰ったら、すぐにいってみる」

勢津は自信ありそうに請あった。

退院して一週間ほどたった夜、まつをは、入院中世話になった人たちを招いて、床あげの祝いをした。

「まつをはん。厄払いのつもりで、ひとつこう、ぱっと威勢ようやろうやないか」

紀州屋が張り切って、自分から祝宴の差配を買っててた。

その日は、店を早じまいにして、日が暮れると、店先には、定紋入りの幔幕が張りめぐらされた。奥の客間とそれにつづく二部屋の襖をとり払い、三十名ほどの客たちがぞくぞくとつめかけた。紀州屋の寄贈で、まつをはが愛用していた菰かぶりも座敷に運びこまれた。まつをはが呉服屋仲間とひいきにしていた柳原から、きれいどころも四、五人呼ばれた。

床柱を背に、黒の縫い紋の羽織姿で、まつをはは坐わり椅子におさまっていた。彼女はまだ自力で坐わっていることができない。坐わり椅子は、市橋が自分の店で特別につくらせたものだった。まつをはは正座ができない。坐わり椅子のうえで、男のようにあぐらをかき、薄い毛布で不作法な両脚をかくしていた。

県議の森川も姿をみせ、まつをはとならんでいた。

★神戸の催物ごあんない★

<演劇>

▶モスクワ芸術座

9月27日「三人姉妹」原作/チェホフ 28日「どん底」
原作/ゴーリキー いずれも PM 6:30 料金A—¥
3000 B—¥2500 C—¥2000 D—¥1500 E—¥
1000 於神戸国際会館



モスクワ芸術座 三人姉妹

<音楽>

▶東京キューバン
ボーイズ“民謡
集”

9月6日 PM
2:00 PM 6:30
会費 ¥380 民音
9月例会

▶大阪フィルハー
モニー交響楽団
演奏会

9月20日 PM
7:00 指揮/朝比

奈隆 曲目/『アルプス交響曲』『舞踊組曲クルミ割り
人形』 会費 ¥500 民音9月例会 於神戸国際会館

▶佐良直美と松岡直也ウィンド

9月22日(日) PM 3:00 主催・神戸労音 会費 ¥
600 於神戸国際会館

▶ジョン・ウィリアムス・ギターリサイタル

9月26日(木) PM 6:30 主催・神戸労音 会費 ¥
800 於神戸国際会館

<美術>

▶中国青銅器展(白鶴秋季展)

9月14日より11月末まで 料金 ¥ 100 於御影白鶴
美術館

▶南蛮紅毛美術展

9月中旬より11月末まで 料金 ¥ 100 於神戸南蛮
美術館

▶有名画家遺作展

8月30日～9月4日 於三宮そごう8階画廊

▶兵庫県工芸美術展

9月6日～11日 於三宮そごう8階画廊

▶第2回(書画)中道聖月個展

9月10日～18日 於三宮そごう8階画廊

▶上田俊夫油絵展

9月20日～25日 於三宮そごう8階画廊

▶京娘と秋の挿花展(新日本華道教授会)

9月27日～10月2日 於三宮そごう8階画廊

「こうして坐わっていると、発病まえとちっとも変らん
な。ほんとによくなられた」
「へえ。これもみなさんのおかげで——」
まつをは、毛布の下に動かぬ左手をいれたまま、丁重
にあたまをさげた。
「しかし、これからは月に一、二度、權威のある専門医
に往診してもらったほうがよろしいな。定期的に診ても
らっておると、いざというときに心丈夫ですから」
森川は、脳溢血の患者が呼吸器の病院に入院したこと
「わたしは布引の田川内科の院長と懇意にしている。田
川博士はそのほうの名医で通った先生だから、よかつた
ら、ご紹介しよう」
「へえ。ぜひお願い申します」
まつを自身も、天沼病院に入院したことはまずかつた
と、入院中から気づいていた。
市橋の挨拶で、祝宴ははじまった。めでたい席なので、
たちまちにぎやかにはずみだした。めでたい席なので、
めでた、めでたの、若松さまよ——と、もうそんな陽
気な歌が、どこからかとびだしていた。芸者の一人が、

まつをの酌にきた。だが、まつをはあわてて右手をふっ
てみせた。
「あかん、あかん」
「いや。今夜はあなたの退院を祝う席だ。まあ、かたち
だけでも一杯うけなさい」
森川がわきから言葉をかけた。
「そうでっか。ほんならまあ、森川先生のお言葉に従っ
て、一杯だけ」
まつをは、こわごわ膳部の杯をとりあげ、芸者の酌を
うけた。
「ほんなら、いただきます」
ひと口、口にふくんだが、しかし、まつをは思わず顔
をしかめていた。にがい！ 五カ月ぶりの酒が、こんな
ににがい味だったとはわれながら不思議でならなかった
「先生。もうあきまへんわ。お酒ともいよいよ縁切れだ
す——」
まつをは苦笑いしながらいった。だが、これでいい
のだ、と胸のうちでつぶやいていた。縁を切るのは、酒
だけではなかった。もうひとつ、大きな決意を、彼女は
胸中に秘めていた。(つづく)



サロナー
も北の港町へお越し入れてです。
(普合区 橋美子)

★来月の初めに結婚する神戸っ子です。といえおめでたいのですが、私は今、とても複雑な気持ちです。というのは私の嫁ぎ先は北の町、函館なです。私は生粋の神戸っ子、生れて二十余年、一度も神戸を離れたことがないのです。函館も神戸も港町。でも、北国の寒さは、とても神戸のような明るいハイ・センスなムードも期待できそうありません。ひと月もたてば、きっとホーム・シックにかかると思います。そこで思いの街の雰囲気をもっと盛りこんだこの雑誌。きっと、私の憂いを解してくれることになって、神戸っ子の嫁入り道具に選んで、神戸っ

発行人いろいろとお世話いただいた方がた
安朝有浅 青砂 石乾 井石 榎石 岡上 岡岡 小岡 大木 嘉木 木下
比奈 田部 野木 野上 野並 崎部 崎部 淵野 納井 納井 下
正長 信重 豊信 文成 将真 吉真 伊都 真一 元正 健毅
平隆 道晃 雄仁 彦一 門明 一朗 雄一 子造 夫治 六一 繁
小磯 泉林 藤林 本林 山口 川谷 南田 中川 川村 中井 高馬
良徳 秀徳 秀英 喜末 千昌 秀義 重猛 清勝 孝寛 健和
一夫 二雄 一助 二雄 介彦 二郁 夫民 孝雄 雄彦 二助 一操
島木 西沢 口 水富 井崎 上地 崎井 富水 青吉 吉口
健太 圭幸 忠二 幸次 専一 泰芳 高丸 辰正 辰正 辰正 辰正
吉郎 三勝 郎三 郎二 郎一 郎二 郎三 郎四 郎五 郎六 郎七 郎八 郎九



編集後記



★美術の秋をむかえた。県立美術館設立の動きもやっと具体化してきた。現代彫刻美術館が須磨宮公園で開かれる。花と彫刻の街に、という願いが一步前進の形をとったという。アングラばやりに、野外彫刻展はサングラ(サン・グラウンド)でゆこうというところ。KOBELという催である。太陽のもとで、でかいスケールでやってほしいもの。地下にもぐるばかりが能い。地下

★涼しい六甲オリエンタルホテルで今年も、インスタントの彼(青木君)と彼女(水井さん)に、飯麩の典をあけていただきました。「女みょうりにつくるわね」と花嫁衣裳を見る彼女、やはり花嫁は女性のシンボル★七月号の小磯先生の表紙。蝶と蜜蜂。すごい人気でした。八月号の踊り子。九月号の静物と続々先生の銅版画が登場します。この表紙絵には朝

神戸っ子ごあんない



★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをとお届けにしたい方は、編集室あてにお申込み下さい。さっさとお送りいたします。

6カ月分 六五〇円
1年分 一三〇〇円(送料共)

◎月刊神戸っ子に終介されている、神戸の路店には、お客さまへのサービスとして神戸っ子がおかれていきます。左の月刊神戸っ子をお買求めの時にはその月原さんどうぞ。
コーベックスさんちかタウン大丸 書籍部 神戸大丸五階

| | |
|---|---------|
| 漢口堂三宮店 | 東京 |
| 瀧泉書房 | セウター街 |
| 千本洋書 | 市電平野終点 |
| 日東堂 | 新聞会館1階 |
| 文堂 | 大丸前 |
| 海文堂 | 元町通3丁目 |
| 甲南堂 | 元町通5丁目 |
| 宝南堂 | 国鉄本山駅北口 |
| 小原光文堂 | 阪神御影南側 |
| 隆司書房 | 新開地本通り |
| ◎月刊神戸っ子に広告を掲載して、お店を、また商品を二紹介なさりたい方は、月刊神戸っ子編集室へお申込みください。 | |
| ◎神戸百店会の事務局も月刊神戸っ子編集室内にあります。 | |
| 神戸っ子NO. 89 | |
| *発行/昭和43年9月1日 | |
| *編集・発行/小泉康夫 | |
| *発行所/神戸っ子編集室 | |
| 神戸市真合区八幡通5ノ96 | |
| K・Eビル | 4階 |
| ☎7037 | ☎8072 |
| 頒価/100円 | |



Dandy Corner

世界のおしゃれをおとどけする

紳士服飾 **クネ**

★神戸店=元町通1丁目64
TEL(078) 33-2677

★東京店=東急百貨店日本橋店1階
TEL(03) 211-0511 内線 318

★東京店=東急百貨店本店6階(渋谷)
TEL(03) 462-3435

●ニットウェアの
コーディネートを楽しもう!

秋、ニットの季節がやってきました。Vセーターやカーディガンに、タートルネックを組み合わせて、個性を生かした色のコーディネートを楽しむを味わってください。流行のマーク入りの代表選手は、ラコステ(ワニマーク) マンシング(ペンギンマーク)。色はグリーン・ブラウンが、新しい感覚です。

紺の似合う人になりたい!

江原興造 <クリフォード・ウイルキンソン、
タンサン鉱泉KK勤務>

黄色のタートルセーターに、ラコステのチャコールグレーに、ブルーグレーのストライプのカーディガンをきこなした江原氏は「ぼくは、フォーマルもスポーティもどちらも好き。色は紺とグレー。紺はいくらつきあってもあきがこず深みがあるから、紺の似合う人になりたいですね。ぼくのポイントは全体の統一のみ」と語る。

ポート・ルック

●楽しいベスト・スタイル

福富芳美 <明石女子短大学長・神戸ドレメ院長・大丸顧問デザイナー> カメラ・米田定蔵





初秋の五突に錨を降した英国のカーゴシップ。その名もストラスローラ号。
キャブテンくんにはノと微笑むマドモアゼルは、モダンなエメラルドグリーンへのスト・スタイルです。
今秋きつとみんなが着てみたくなるような新しいタイプのベストは、長い着丈。プラウスは淡いピンクのシルクシャンタンで
ロマンチックなデザイン。長いカフスとネックのボーが、ベストにびつたり、可愛いムードです。
ベストといえは上着といった常識から、今月は、ベストスーツの登場という新鮮さが楽しめるポイントルックです。
*9月のマドモアゼルは、ラジオ関西ポップスインジャパンのホステスとして人気のある松本聖子さん(19才)。
山手高校を卒業後、OCMタレント・グループに所属して、テレビ・ラジオに活躍する神戸っ子。
ストラスローラ号のキャブテンに「ジャパニース・ツイギーノ」と目を細めさせたチャーミングな彼女は、ヘッセの詩が好きで
自分でも詩を書くの」と長い黒髪を揺らせた。
「将来はモードデザイナーになって、お店を持ちたいワ」とは、おしゃれな彼女にふさわしい夢だった。



味覚の秋に・楽しいチャンコ鍋
佐分利信のようなタイプが好きというご両
人。チャンコ鍋とエビフライ定食で会社帰
りにごきげんです。

いよいよ天高く、味覚の秋スタート!

野沢和子・武村美和子さん(左)

<トアロード・エスターニュートン勤務>

★三宮阪急西口の《悟味西本店》が全店マス席の鍋もの専門店として
新装開店いたしました。

鍋もの・定食

悟味西本店

阪急西口 <33> 3 8 4 8

鍋もの
炉ばた

悟味西

阪急西口 <33> 3 8 4 8
<2階>

★姉妹店

お茶漬・おむすび・鍋もの

ふる里

生田前筋 <33> 5 5 3 5

こうべ ろまん

<9>

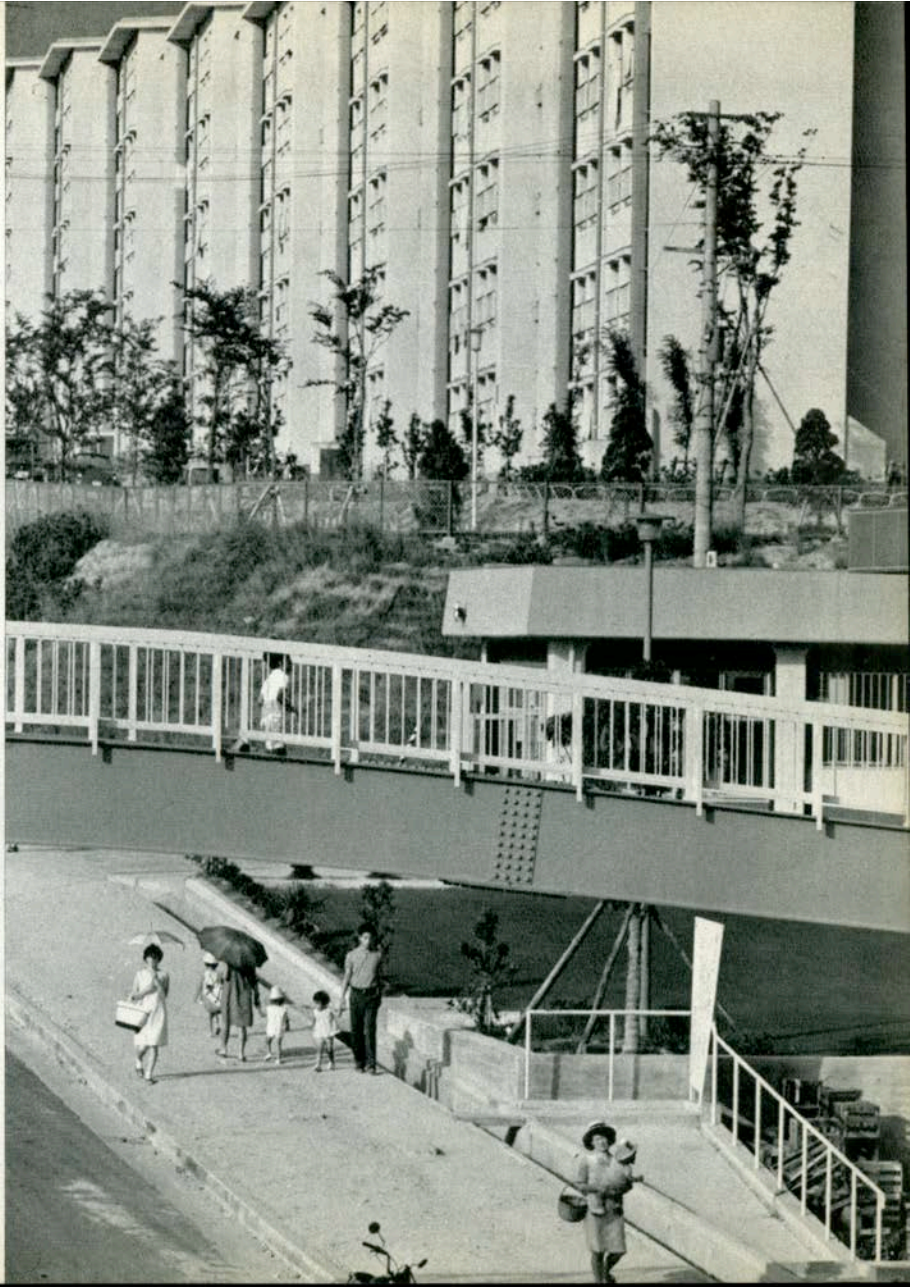
舞 子

文——陳 舜 臣
カメラ——緒方しげを

中央にみえる俗称六角堂は、正確にかぞえると八角形で、正式の名は移情閣。鐘紡の重役にもなった華商呉錦堂が大正六年に建てた別荘である。戦後荒廃したが、去年、華僑有志の拠金で修復したばかりだ。岸辺ぎりぎりに建っているが、むかしはその前方に砂浜が百メートルほどひろがっていたそうだ。名にし負う舞子の浜も、いまやこのように白砂を削りとられ、青松の残党がけなげに孤塁を守るのみである。それもいつまで？




戦時中、私はしばらくこのあたりに住んでいたが、当時はいかにも田園といったかんじで、牛糞のにおいをする土地だった。いまはごらんとおり、おきまりのベッドタウンと化し、おなじような高層住宅が軒（などはないが）をならべている。酔っ払って建物をまちがえて御帰還になるダンナもいるそう。おびただしいマイホームのマスは、そこから発する近代家庭生活の息吹きで、ついに牛糞のにおいを完膚なきまでに吹き散らした。



夜になると舞子のむかしの

淡路の山々は その裾を灯火
でふちとられる かつてはダ

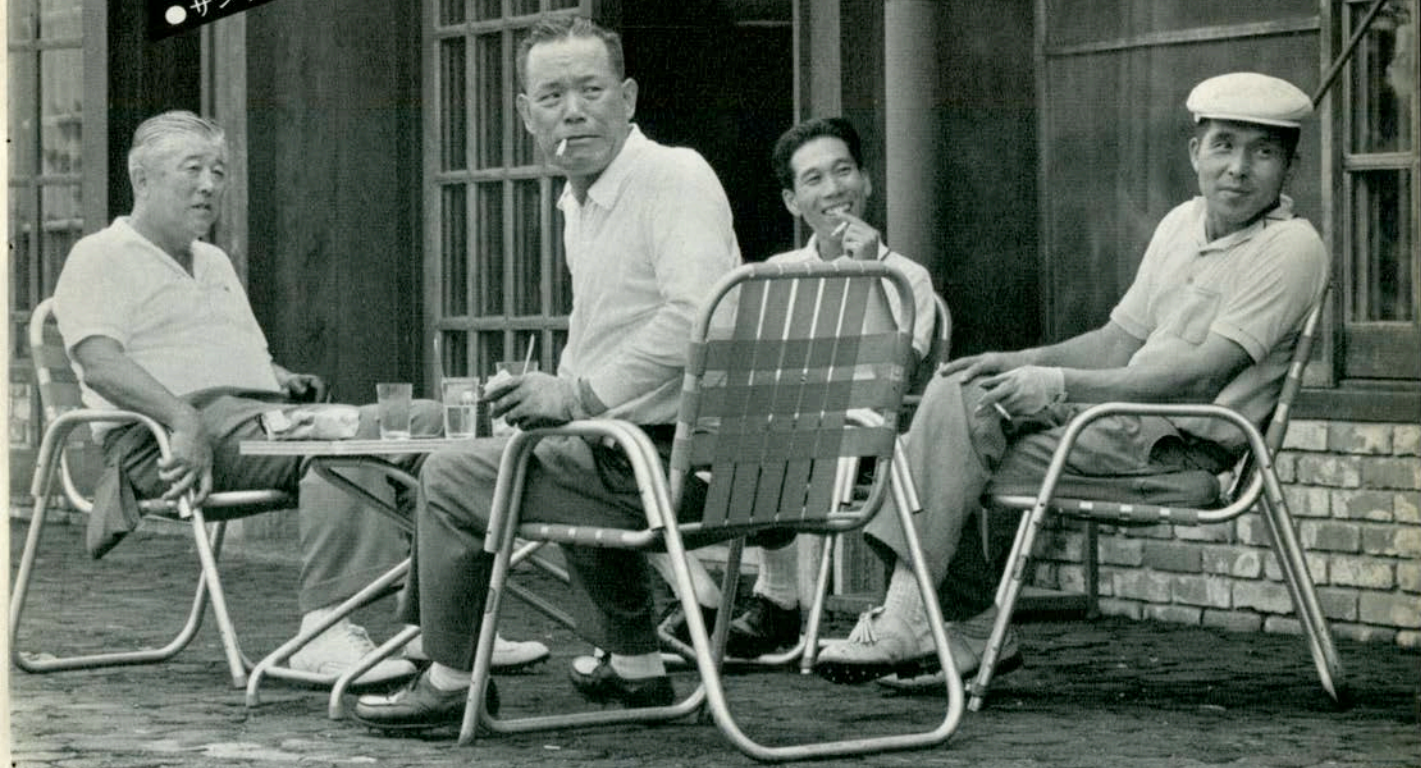
A black and white photograph of a night cityscape. In the background, a range of mountains is silhouetted against a dark sky. A utility pole with several cross-arms stands prominently in the left foreground. The middle ground is filled with a dense array of lights, likely from a bridge or a highway, creating a bright horizontal band. In the lower right, a multi-story building with several lit windows is visible. The overall scene is dark, with the lights providing the primary illumination and contrast.

イヤモンドのように まばら
にきらめいていたが いまは
お手々つないで光の帯をつく
った 明石海峡は黙って そ
の速い潮の流れをやめない
このあたり 将来 橋がかか
るときいた そのときになれ
ば 車のヘッドライトの光の
帯が 黒い海をタテにひとま
たぎして 新しい景観をうむ
だろう するとこの写真は懐
旧のよすがとなってしまふの
だ いつの日か？

No.7

●サンサカエ・ゴルフコーナー

競いあう四クラブ・小野ゴルフ場



緑蔭の語らいのある集い

遠方からの買物

遠くから、わざわざ神戸のサン・サカエにまで買物にくるのも、私にも合う大きな寸法まで揃っているからです。

秋のおしゃれは、アウトウェアからゴルフウェアまで電話一本で取り寄せられるサン・サカエが便利です。—小塚氏談

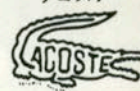
写真左から 小屋 経嘉 (社ライオンズクラブ)
 吉田喜重郎 (小野ロータリークラブ)
 西山 静七 (小野青年会議所)
 上柳 泰一 (小野ライオンズクラブ)

合同コンペは実に楽しい集いである。各クラブによって球の趣きが異なるようだ。汗をかき芝を踏む四人がハーフを終えて一息つく顔に、コンペでしか会えないゴルフ友達の語らいが始まる。鴨池をはさむコースでのなでやかな一時である。

マックグレガー



ラコステ



マンシング
ウェア



ダンロップ



men's apparel

サン・サカエ

神戸元町2
TEL(33)-7885



神戸百貨会

Kobe High Class Shop Group

- *宝飾品 Jewel Pearls**
 - ① 飾 御木本真珠店 International House Mikimoto Pearls
 - ② 宝 飾 田崎真珠店 Tasaki Pearls
 - ③ 宝 飾 北村真珠店 Kitamura Pearls
 - ④ 宝 飾 タジマジュエリー Tajima Jewel
 - ⑤ 時計と宝石 美田時計店 Mita Watch Shop
 - ⑥ 宝 飾 神戸宝石店 Kobe Jewel
 - ⑦ 真珠・毛皮 舶来婦人服飾 Pearl Fur & Ladies'
- *紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop**
 - ⑦ 紳士服 柴田音吉洋服店 Tailor Sibata
 - ⑧ ネクタイ 元町バザール Motomachi Bazaar
 - ⑨ 紳士服 三恵洋服店 Tailor Mituei
 - ⑩ 男子洋品 フナキヤ Funakiya
 - ⑪ 紳士服 十字屋洋服店 Tailor Jujiya
 - ⑫ 洋品雑貨 サノヘ Sanohe
 - ⑬ ワイシャツ 神戸シャツ Kobe Shirt
 - ⑭ 紳士服 洋服の粹 渡辺 Watanabe
 - ⑮ 衣生活品 ニッケショールーム Nikke Showroom
 - ⑯ 紳士服 神戸テーラー Kobe Tailor
 - ⑰ 若人の服飾 マッソ Mac Men's Shop
 - ⑱ 紳士服飾 うね Une
 - ⑳ 紳士シャツ 大和屋のシャツ Yamatoya Shirt
- *婦人洋装・洋品 Ladie's Shop**
 - ㉑ 帽子 マキシム Maxim
 - ㉒ 服飾雑貨 エスターニュートン Esther Newton
 - ㉓ 洋品 スギヤ Sugiya
 - ㉔ ハンドバッグ シブラサ Shirasa
 - ㉕ ベビー用品 ファミリア Familiar

- ㉖ 洋傘 オカダ Okada
- ㉗ 洋装 マスヤマ Masuya
- ㉘ 婦人服飾 ベニヤ Beniya
- ㉙ 輸入服地 マルゼン Maruzen
- ㉚ 婦人・紳士服 セリザワ Serizawa
- ㉛ 毛皮 ベニー毛皮 Bennie Furrier (Furs)
- *装身具・服飾品 Accessary・Dress**
 - ㉜ ベッ甲 太田ベッ甲 Ota Co. (Tortoise-shell ware)
 - ㉝ ハンドバッグ イクシマヤ Ikushimaya
 - ㉞ アクセサリー 芸 Geimu
 - ㉟ 婦人・紳士靴 クロス靴 Cross Shoes
 - ㊱ 婦人・紳士靴 ヨシオカカ Yoshioka Shoes
- *和装 Kimono, Geta**
 - ㊲ 呉服 ちんがら屋 Chingaraya
 - ㊳ 呉服 みよしや Miyosiya
 - ㊴ 衣裳 中川衣裳店 Nakagawa
 - ㊵ 衣裳 つるや衣裳店 Turuya
- *美容 Beauty Shop**
 - ㊶ 美容 美容室あきら Akira Beauty Shop
 - ㊷ 美容 美容室エリザベス Elizabeth Beauty Shop
- *美術・工芸品 Art**
 - ㊸ 美術 元町画廊・若木屋 Motomachi Gallery
 - ㊹ 画材・額縁 末積製額 Suezumi
 - ㊺ 工芸 磯川工芸店 Isokawa
 - ㊻ 美術陶磁器 淡洲 Tanshudo
 - ㊼ 新古典美術 播新 Harishin
- *家具 家庭・文化用品 Furniture・Family**
 - ㊽ 家具 永田良介商店 Nagata Ryosuke Shop
 - ㊾ 玩具 カメヤ Kameya Toy Store

- ㊿ メガネ 神戸眼鏡院 The Kobe Optical Co., Ltd
- ㊿ カメラ コヤマカメラ Koyama Camera Shop
- ㊿ 儀式用品 富田 Tomitaya
- ㊿ カバン 大上靴店 Oue Trunk Co.
- ㊿ ゴルフ用品 タカハシ Takahashi
- ㊿ 電器製品 元町家庭電器販売 K K Motomachi Electric Co., Ltd.
- ㊿ 薬品 三星薬局 Sanseido Pharmacy
- ㊿ メガネ 服部メガネ店 Hattori Optical Shop
- ㊿ 結婚儀式用品 遠藤福寿堂 Endo Fukujudo
- *ボーリング Bowling**
 - ㊿ ボーリング 神戸スターレーン Kobe Starlane
- *菓子・喫茶 Cake・Tea-room**
 - ㊿ 和洋菓子 風月堂 Fugetsudo
 - ㊿ 瓦煎餅 亀井堂本家 Kameido Honke
 - ㊿ 菓子 雁治郎飴本舗 Ganjiroame Honpo
 - ㊿ 洋菓子 喫茶 ドンク Donq
 - ㊿ チョコレート モロゾフ Morozoff
 - ㊿ ドイツ菓子 喫茶 ユーハイム Juchheim's
 - ㊿ 洋菓子 ヒロタ Hirota Confectionery
 - ㊿ 洋菓子 喫茶 ユーハイムコンフェクト Yuhaimu Confect
 - ㊿ 和菓子 二つ茶屋 Futatsuchaya
 - ㊿ 菓子 本高砂屋 Hon-Takasagoya
 - ㊿ カステラ 長崎堂本店 Nagasakiido
 - ㊿ 瓦煎餅 亀井堂総本店 Kameido Sohonten
 - ㊿ 瓦煎餅 河内 Kanando
 - ㊿ チョコレート コスモポリタン Cosmopolitan
 - ㊿ 瓦煎餅 菊水総本店 Kikusui Sohonten
 - ㊿ 喫茶 茶 UCウエシマコーヒショップ Ueshima Coffee Shop
 - ㊿ 洋菓子 アルモンド Almond
 - ㊿ チョコレート ゴンチャロフ Goncharoff

- 和洋菓子 寿本 Kotobuki Honpo
- レストラン
- *和洋料理 Eating House**
 - ㊿ 日本料理 竹葉亭 Chikuyotei
 - ㊿ 天婦羅 可川 Okagawa
 - ㊿ ふく料理 富田 Minatogawa
 - ㊿ 寿司 本成 家 Hon-Narikomaya
 - ㊿ とんかつ 武蔵 Musasi
 - ㊿ スペイン料理 カルメン Carmen
 - ㊿ 欧風料理 ハナワ Grill
 - ㊿ ビヤ・ホール ニュー・トーキョー New Tokyo
 - ㊿ 海川魚 時雨茶屋 Shigure Jaya
 - ㊿ 軽料理 蛸の壺 Takonotsubo
 - ㊿ レストラン コラルキタノ Coral Kitano
 - ㊿ レストラン ブランドウブラン Blanc de Blanc
 - ㊿ ふく 天ぷら・寿司 栄 Sakaeya
 - ㊿ 寿司 又 Matahei
 - ㊿ 神戸肉 大井肉店 Ooi Beef Shop
- *クラブ・料亭 Night Club**
 - ㊿ 料亭 松乃 Hanakuma
 - ㊿ ナイトクラブ 北野クラブ The Kitano Club
 - ㊿ グラバ くらぶ花くま Club Hanakuma
- *ホテル Hotel**
 - ㊿ ホテル 神戸オリエンタルホテル Oriental Hotel
 - ㊿ ホテル 六甲オリエンタルホテル Hotel Rokko Oriental
 - ㊿ 観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣 Kosenkaku
- *商社 Trading House**
 - ㊿ ビール 朝日麦酒 K. K. Asahi Beer
 - ㊿ 電化製品 ナショナル電化センター National Electric Center
 - ㊿ 銀行 神戸銀行 Bank of Kobe
 - ㊿ 珈琲・紅茶 UCC上島珈琲本社



実現を

3倍に

スピードアップ!

建設資金のワズカ $\frac{1}{3}$ だけを《こうべ》の定額積立と自由積立のセットでスピーディに積立ただけ、あとの $\frac{2}{3}$ (つまり積立額の2倍!)は《こうべ》がすぐご融資します。いつでも気軽にご相談ください。



東宝/内藤洋子

- ご融資額 30～500万円 (積立額の2倍以内)
- 積立期間 1年以上 (据置期間3カ月を含む)
- ご返済期間 10年以内(定額積立期間の3倍まで)



神戸銀行

★百店会でのお買物は神戸銀行ホームチェックをご利用ください



※世界に伸びる技術のナショナル

ご家庭の食生活をかえた お台所の主役〈電子レンジ〉

お求めやすい価格で登場!



エレクトク家庭料理コンテスト
実施中! 期間10月31日まで

電子レンジを使った奥さまお得意のメニューをどしどしご応募ください。

●くわしくは、お近くのナショナル電子レンジ取扱販売店で……

秒速調理の ナショナル 電子レンジ

NE-5000 (出力500W)

パワー5000

138,000円

月賦定価 (15回) 151,000円
寸法(高さ51・幅43・奥行45.7cm)

煮る・焼く・蒸すでもない新しいお料理づくりを秒速で調理する(エレクトク)——電子レンジが台所の主役を演じて、ご家庭の食生活をグンと改善! ナショナルでは、もっと広く電子レンジのある豊かな暮らしを楽しんで頂くため、さらにお求めやすい価格で(家庭用)を発売しました。



- 前面パネルは しゃれた木目調
- 家庭用100ボルト電源でOK!

昭和四十二年一月二十日 発行所/神戸市真合区八幡通五丁目九六(市役所前) K・Eビル四階 TEL 270-37 頒価二〇〇円
第三種郵便物認可 昭和四十二年九月一日発行毎月一回 大日本印刷株式会社印刷 編集発行/小泉珠夫 (送料は別)